

A1 鳥取東部の浜と磯

■ 選定理由

鳥取砂丘や浦富海岸での野外学習に際して、鳥取東部海岸の概要を理解しておくこと、より大きな学習効果が期待される。

■ ねらい

広域的な地形-地質構造を把握するには、地形図判読が有効である。ここでは国土地理院発行2.5万分の1地形図「浜村」「鳥取北部」「浦富」「田後」を利用して鳥取県東部海岸の特徴を理解する室内実習を解説する。

■ 実習の手順

学習のねらいの説明とグループ編成

砂浜海岸と岩石海岸の説明

地形図・地図記号の説明

地形図判読（砂浜海岸と岩石海岸の塗り分け）

考察と討論

- 1) 砂浜海岸や砂丘（浜）はどこにあるか？
- 2) 岩石海岸（磯）はどこにあるか？
- 3) 砂浜海岸と岩石海岸の分布にみられる特徴

まとめ

■ 浜と磯（図3）

浜と磯の定義

- 1) 砂浜海岸（浜） 砂が堆積している海岸
- 2) 岩石海岸（磯） 岩盤が露出している海岸

浜と磯のイメージ写真の入手先

鳥取県ホームページ「写真ライブラリー」

<http://www.pref.tottori.jp/kouhou/sphoto/>

■ 2.5万分の1地形図の入手方法 [単価 270円]

今井書店各店舗 0857-51-7020 (吉成店) など

<https://www1.imaibooks.co.jp/index1.html>

■ 地図記号（図4）と塗色方法（図5）



図1 鳥取砂丘



図2 浦富海岸（鴨ヶ磯）



図3 岩石海岸と砂浜海岸（東浜）

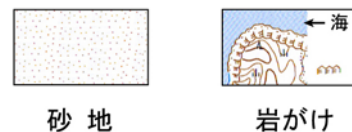


図4 地図記号



図5 砂浜海岸と岩石海岸の塗色方法（国土地理院発行2.5万分の1地形図「田後」）



図4 東部山陰海岸における岩石海岸の分布と袋川高度不連続

■ 解説

鳥取県東部～兵庫県北西部には、岩石海岸と砂浜海岸が交互に配置する（図4）。岩石海岸は山が海に接するところに、砂浜海岸は平野や沿岸低地が海に接するところにできている。前者は山をつくっている岩石が海岸浸食によって露出したところで、後者は河川で運搬された砂が堆積したところである。

広くみると、鳥取砂丘よりも東側では岩石海岸がつづき、西側では砂浜海岸が卓越する。これは、袋川高度不連続（地形高度の線状の急変帯：図5・図6）を境に、北東側の扇ノ山・氷ノ山山塊が隆起しているためで、山地高度も北東側で高く、積雪量も急増する。

鳥取砂丘は袋川高度不連続の東側に位置しながら、長大な砂浜海岸をつくっている。高度不連続よりも東側にあるために、砂丘地下の岩盤の高度は高く、その表面は大きく起伏していて、岩盤を覆う砂丘の凹凸を大きくする原因の1つになっている。



図5 袋川高度不連続に沿う急斜面（久松山山麓、左が海側）

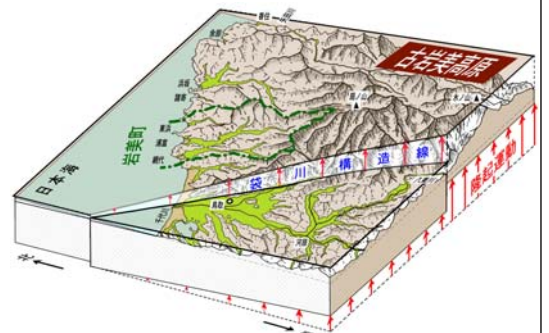


図6 袋川高度不連続の形成（古期断層崖の浸食）

■ 文献

玉尾純弥・矢野孝雄（2008）鳥取平野の地形-地質構造

-平野形成にかかわる地殻変動-．鳥取地学会誌，12，15-28．

矢野孝雄（2009）大地のおいたちと地域環境．岡田昭明編，地域環境学への招待，5-14，三恵社．
（矢野孝雄；2009.3.23）